

令和元年度 横川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

豊かな心と健やかな体、主体的に考え行動する力、互いに協調して根気強く取り組む態度を培い、将来、社会人として「自立と貢献」ができる人間を育成する。

（2）具体目標

進んで学び主体的に行動する生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で気力のある生徒

（3）生徒指標

「強く 聡く 美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・「知・徳・体」の教育を調和的に展開することにより、確かな学力や自ら学び、考え、行動する力、豊かな心、健康な心身などの生きる力の育成を図る。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸長し、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し自ら研鑽に努め、協働して教育活動を推進するとともに、保護者や地域との連携を深め、より一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学業指導の充実による、生徒一人一人の将来の自己実現に向けた基盤づくりの推進
- (2) 豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- (3) 「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- (4) 認めて褒めて、自己肯定感を高める教育の推進
- (5) 言語環境の整備と人権尊重の教育の推進
- (6) 特別な支援を必要とする生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進
- (7) 専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の適正化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築
- (8) 小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり

【横川地域学校園教育ビジョン】

豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育
～自分・人・地域を大切にする子どもの育成を目指して～

4 教育課程編成の方針

次の4つの視点を踏まえ、地域とともにある学校づくりを推進していくための教育課程を編成する。

- (1) 教育課程を編成し主体的・対話的で深い学びの実現
- (2) 「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
- (3) 地域学校園内の小学校との連携・協力による小中一貫教育の一層の充実
- (4) 保護者や地域住民等への情報提供及び家庭や地域との連携・協働

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

生徒一人一人のよさや強みを認め、褒めて伸ばす指導の充実

【学 習 指 導】

○「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と「主体的・対話的で深い学びの実現」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成

【児 童 生 徒 指 導】

○「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導

○児童生徒の健全育成を目指して—いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい—(共通スローガン)
～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～

【健康（体力・保健・食・安全）】

○自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心をたかめる教材を工夫する。 ・思考力・判断力・表現力を高める学習活動を改善していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.0% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度に引き続き、基礎・基本の定着のため、授業でＴＴや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人個別に対応できる学習指導の体制を整える。また、放課後学習相談も継続して実施する。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・道徳の授業や学級活動における指導内容の中に明確に位置づけて指導していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.5% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・道徳の授業では、横川地域学校園重点項目(思いやり)の研究をするなど、学校全体の取り組みを行うことができた。 【次年度の方針】 ・学校行事の目標にも思いやりの内容を入れる。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・「学校生活のきまり」を意識して生活させる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 92.3% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・遅刻をしないなど、時間を守ることを重点的に指導していく。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・学校生活のすべての場面で適切な言葉遣いや発表・報告等ができるように繰り返し指導助言していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 97.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・ＴＰＯに応じ、心のこもった品の良いあいさつができるよう指導していく。
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・自分の個性を理解し、将来の目標を段階的に計画させる。その達成に向けて粘り強く努力するように指導助言していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・職員が共通理解のもと指導に当たることができた。 ・課題を必ず提出できるように、指導の工夫を行った。 【次年度の方針】 ・引き続き、きめ細やかな指導を丁寧に行っていく。

A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・保健体育の授業を中心に学校教育活動全体で、生徒が主体的に取り組めるよう指導工夫をしていく。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.0% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・体育実技の授業では、ケガの予防や用具の使用については、事前に指導をしてから実践している。 ・各教科と連携しながら、食育の推進や、健康指導を行った。 ・栄養教諭、養護教諭と教科担任と連携を図って授業を実践した。 ・個別の健康相談の実施により、生徒の意識が高まった。 【次年度の方針】 ・今年度同様、連携を図りながら指導をしていく。
A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・発達段階に応じたキャリア教育を実践することにより、自分の役割を自覚し、他者と協働して社会へ参画するように指導助言していく。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・達成可能な目標を設定し、褒める指導の実践により、自己肯定感を高めることができた。 ・ボランティア活動を通して、地域に貢献する機会を増やしている。 【次年度の方針】 ・引き続き、次年度も生徒の良さを認めながら、他者を認められる指導をしていく。
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・外国語の授業を中心に言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める指導を行っていく。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度に引き続き、T Tの時間やA L Tとの授業の時間に、効果的な活動を取り入れる。
A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・総合的な学習の時間や地域のボランティア活動を通して、宇都宮の良さを体験できるように工夫していく。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 81.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・宇都宮学を活用し、宇都宮の良さを感じられるように指導を続けていく。また、学習の様子を保護者へ情報発信していく。
A 10 生徒は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・読書活動や資料収集活動において、I C T機器や図書等を活用する力を高めていく。	【【達成状況】】 生徒の肯定的回答 69.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成していない。 ・総合的な学習の時間にI C T機器はよく利用したが、図書の活用はあまりなかった。 【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間にI C T機器及び図書を効果的に利用した活動をする。また、教科ごとに計画的に図書室を利用した授業を行う。

目 指 す 学 校 の 姿	A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・学校行事への高齢者招待や福祉施設訪問等を行い、地域の高齢者への感謝やいたわりの気持ちを育成していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.5% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・1年時の施設訪問やボランティア活動等を通じて支援を続け、更なる心の育成に努める。
	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・地域が行う防災訓練等に参加するなど、身近で直面している諸問題に関して考える力を育成していく。	C 【達成状況】 生徒の肯定的回答 73.5% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成していない。 ・地域防災訓練に参加することができなかった。 ・日々の生活と関連付けながら、「持続可能な社会」について考える機会を設けることが必要である。 【次年度の方針】 ・エコキャップ、アルミ缶回収、牛乳パックリサイクルなどに積極的に取り組むように指導する。 ・ごみの分別を推進する
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・生徒指導支援部会を週1回開催し、情報交換をしっかりと行う。 ・報連相を確実に行き、事案に対して素早く対応していく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・生徒の状況に応じて別室登校や場を借りた登校など生徒や保護者のニーズにできるだけこたえることができた。 【次年度の方針】 ・情報交換だけでなく支援の方向性や具体的な方策などを話し合う。
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・いじめ等の未然防止、早期発見及び早期に対応するために、年8回のアンケートを実施する。また、スタンダードダイアリーを適宜活用していく。 ・教職員の人権感覚を高め、授業や学校行事をはじめ、学校生活のすべての場面において、いじめが許されない行為であることを常に生徒に指導していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・より効果的なアンケートとするため、実施の時期を、行事との関連から検討する。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・教育相談や三者懇談等を有効活用し、家庭との連携を密に行う。 ・問題が発生した場合、早期対応・早期解決を図っていく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・必要に応じて家庭訪問をしたり、欠席した生徒には必ず電話連絡をすることができた。 【次年度の方針】 ・欠席生徒への対応を各担任で差がないように、確認しながら実行する。

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・日本語指導員、国際理解教育担当者との連携や家庭との連携を密に取りながら、適切な支援を行っていく。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・外国籍の生徒や保護者が外国籍の生徒に対して連絡を密にし、意思疎通を図った。 【次年度の方針】 ・本年度同様に生徒、保護者について丁寧に対応していく。
A17 学校は、活気があり、明るいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・これまでの取組を継続し、学校行事で生徒会や学級委員が中心となり生徒が主体的な活動が行えるような環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 87.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・これまでの取り組みを継続し、学校行事で生徒会や学級委員長が中心となり生徒が主体的な活動ができる環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。 ・生徒の活動を保護者へ情報発信していく。
A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・言語活動の充実を目指し、「見せ合い授業」や授業研究会を通して、各教科で課題を明確にし、分かりやすく、楽しい授業の展開に努める。 ・授業でＴＴやコース別学習、また放課後学習相談を行うなど、生徒一人一人に個別対応のできる学習指導の体制を整えていく。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.4% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・授業でＴＴや習熟度別学習の実施や放課後学習相談を行うなど生徒一人一人に対応できる学習指導の体制を整えていく。
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・学校経営方針や重点目標を全教職員が意識し、互いの強みが引き出せるよう協働しあいながら、業務を行っていく。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 92.7% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・学校経営方針や重点目標を、全教職員が意識しながら業務に取り組み、生徒や学校業務に関する情報を共有し、問題点の把握や改善に努める。
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・市が取り組んできた業務負担軽減策を意識し、スクールカウンセラーやメンタルサポーター等と連携を図り、生徒や保護者との相談業務の効率的・効果的運用を図る。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 70.7% ・評価対象である教職員の肯定的な回答は数値指標を達成していない。 ・目的意識はあるが、業務の効率化が不十分であった。 【次年度の方針】 ・業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務にあたる。 ・生徒・保護者の対応は、スクールカウンセラーやメンタルサポーター等との連携を図るなど、より多くの職員で対応し、効率的・効果的に行う。

A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・「小中交流あいさつ運動」,「小6と中1による小中交流学習」などの取組を継続し,小中の連携をさらに図っていく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・年間の取組内容の精選を行う。 ・「小中交流あいさつ運動」,「乗り入れ授業」などの取組がさらに充実するよう,小学校と中学校間での事前・事後の情報交換を密に図っていく。 ・活動の様子を保護者や地域住民に情報発信をしていく。
A22 学校は,地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 保護者・地域平均肯定的回答 80%以上	・地域コーディネーターと連携し,地域協議会活動を有効に活用し,学校支援体制を作り上げていく。	B 【達成状況】 保護者・地域平均の肯定的回答 89.1% ・評価対象である保護者・地域の肯定的回答の平均が数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度は生徒が地域の活動に参加できるように地域のボランティア活動への参加を積極的に促した。次年度はボランティアに参加する意義についても十分に指導を行う。また,生徒が参加している様子を保護者や地域の方に積極的に情報発信をしていく。
A23 学校は,家庭・地域・企業等と連携・協力して,よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 保護者肯定的回答 80%以上	・体育祭,文化祭,施設訪問,社会体験学習等を通して,地域との連携を図る。 ・ボランティア活動を通して,地域と交流を図る。	B 【達成状況】 保護者の肯定的回答 85.2% ・評価対象である保護者の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・保護者への情報提供・情報発信を積極的に行う。
A24 学校は,利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・学校安全点検をしっかりと行い,修繕すべきところは素早く対応していく。 ・防災訓練等を定期的に行い,安全に関する知識を身に付けさせる。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 95.1% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・毎月の安全点検の実施と学校業務委託員による素早い修繕により,よりよい環境づくりができています。 ・定期的な防災訓練の実施や,専門家との連携により,充実した訓練が実施できています。 【次年度の方針】 ・引き続き環境整備に努める。 ・定期的な防災訓練を実施する。
A25 学校は,学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上	・ICT機器の整備や必要図書の購入等を積極的に行い,有効活用していく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 82.9% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・パソコン室のICT機器が整備されたことを受け,各教科で積極的にICTを授業で活用していく。 ・各教科に必要な図書等を,各クラスに常備し,授業中に有効活用できるようにする。

本校の特色・課題等	B 1 生徒は、自分のよいところを理解している。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・道徳の授業、学級活動の時間を中心に、お互いのよいところを見つけ、認め合う活動を意図的に取り入れ、自他の長所に目を向けたコミュニケーションが取れるよう指導していく。 ・学校生活において、生徒が頑張っているところを積極的に称賛し、更には学校だより、学校ホームページ等で発信していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 85.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・生徒の自己肯定感が高まる声掛けや励ましを、より意識して生徒と接していく。
	B 2 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・担任が生徒の家庭学習状況を把握し、適宜アドバイスする。 ・学年に応じた自主学習ノートの内容の確認を工夫する。 ・自主学習ノートの紹介を行うなど、自主学習ノートの内容について支援する。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.4% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度行ったことを継続して指導支援していく。
	B 3 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書量を増やしている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・朝の読書の毎日実施し、読書の習慣づけを図る。 ・読書週間を設け、全校朗読放送や図書のクラス貸出、お話給食の実施などを行い、読書の啓発を推進する。 ・図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 69.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成していない。 ・読書をよくしている生徒はいるが、読書をあまりしない生徒の割合が多いと考えられる。 【次年度の方針】 ・今年度行ったことを継続して指導する。 ・1年時に図書室の利用のガイダンスを行う時間を利用し、じっくり図書を選ぶ時間をとったり、貸し出しの機会を増やしたりするなど、一人一人が図書に係わるような指導を増やす。
	B 4 教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・学校行事や生徒会活動など、生徒が活躍する場を設け、生徒が前向きになれる言葉かけをする。 ・体育祭や合唱コンクール等の学校行事前に、達成可能な目標を設定させ、その達成に向けた頑張りを認め、称賛することを通して、自己有用感を高める指導を継続していく。 ・学校行事後の振り返りや認め合いシートなどを活用し、生徒を認める場面を増やす。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.0% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 ・生徒を認め励ます場面を意図的に行事に取り入れ実行することができた。 【次年度の方針】 ・教育相談の時間を有効活用する。生徒を認め、称賛する時間を必ず入れる。
	B 5 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上	・交通ルールやマナーの厳守及び安全な登下校のために、全教職員が、毎月の登校指導や、PTA生活指導部と連携しての下校指導や随時行われる交通指導などに力を入れていく。 ・全校集会や学級での指導を基に、家庭や地域の協力により、安全な自転車走行や生命尊重の意識の高揚に努めていく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 88.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・自転車の並進がなくなるよう、引き続き指導していくとともに、日常的に安全教育を行っていく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校評価書導入から１０年が経過したこと及び平成３０年２月に「第２次宇都宮市学校教育推進計画」が策定されたことから、全体アンケートの評価項目及び質問項目等の見直しを図った。そこで、アンケートの結果を以下のように考察した。

・アンケート３０項目（内５項目は独自項目）中２７項目は対象者数値指標を達成した。また、２５の共通項目中２１項目が市中学校平均を上回った。

・Ａ１・Ｂ２の結果から学習意欲が高く、家庭学習の定着が図られ、高い評価になったと思われる。今後学力向上のため、家庭学習の充実を含めた自主学習対策を行っていきたい。

・Ａ３・Ａ６・Ｂ５の結果からきまりやマナーを守り、健康や安全に気を付けて生活していると思われる。しかし、交通ルールになるとやや生徒肯定的回答が低くなり、地域からの自転車登下校のご指摘ご指導を受けることがあった。さらに継続して生徒の安全意識を高める指導が必要である。

○地域学校園共通して重点目標にあげている「あいさつ」については肯定的回答が地域・生徒は９０％以上、教職員・保護者も８０％以上である。「いじめゼロ」については肯定的回答が生徒・教職員・地域は９０％以上であった。今後も小中連携して取組を充実させていく。

７ 学校関係者評価

・すべての項目で、肯定的回答の割合が高かった。以下のようなご意見をいただいた。

・子どもたちの雰囲気はここ数年、よくなっているので、あいさつ運動や花いっぱい運動、地域ボランティアを継続し、地域と協力して改善に取り組むとともに、活動の様子を地域に発信したほうがよい。

・地域、保護者への周知が不十分なところがあるので、メール、学校ホームページ、地区市民センターの掲示板などを利用して、活動の取組についての情報発信をするとよい。

８ まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・評価対象者の数値指標は、ほとんどの項目で市平均を上回っている。このことから、本校生徒の安定・充実した学校生活がうかがえる。

・評価対象者の数値指標は、全体的に肯定的回答の割合は高い状況にある。今後も取組を充実させ、生徒や保護者にとって安心安全な学校づくり、さらに地域資源を生かした地域とともにある学校づくりを推進していく。

・生徒の基礎・基本の定着と思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成のため、全教職員が授業のあり方や課題等について相互に研修し、授業を公開したり授業研究会を開催したり、授業力の向上を図ってきた。次年度も今年度の反省を生かして継続して取り組み、より一層の授業改善を図っていく。